花はす公園と杣山トレッキングの準備記録

花蓮公園は、ちょうど見ごろです。お花好きの方はぜひご参加ください。また、杣山は初めて登りましたが、思 っていたより急な登りで、山容・樹林・眺望も素晴らしく、変化に富んだ気持ち良いトレッキングコースでした。 山城はいくつか挑戦しましたが、杣山城跡は、素晴らしい自然の要塞で、「凄いね。素晴らしいね。・・」と感動し ながら楽しみました。現地の案内板の説明などを読み、想像以上の歴史に触れ、とても勉強になりました。インタ ーネットなどでさらに知識を深めていきたく思います。皆さまのご参加をお待ちしています。

◆花はす公園の状況:とてもきれいです。ゆっくり散策し楽しみましょう。











◆杣山の歴史

※国指定史跡 杣山城跡 :山城は、鎌倉時代末期、瓜生保の父・衛が越後の三島郡瓜生村から、この地に移り築 城したと言われています。以来、金ケ崎城・鉢伏・木の芽峠・燧などの諸城とともに越前の玄関となりました。

※杣山城跡 492m : かっては、北の比叡山と呼ばれ、南北朝時代には、南朝方の拠点になるなど、多くの戦乱の場 所になった所です。北陸自動車道を見下ろす城跡は、鎌倉時代から瓜生氏の居城となり、南朝方の忠臣であった瓜 生氏の死後は、新田義貞が立て籠もりました。一帯には、けい掛岩・姫穴・殿池など当時の面影がしのばれる場所 が点在してます。

※犬戻・駒返:本丸にたいする防御物で、犬も駒も通ること ができず引き返したところから、犬戻・駒戻の名が生まれま した。

※堀切跡:頂上まがけて攻め登る敵に対する防御物です。 馬も通ることのないように深く・広く張り切ったのです。

※けい掛岩:頂上近くの南に面した大絶壁があります。

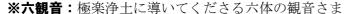
瓜生保戦死の際、その奥方および仕えてた侍女は、この岩に けいを掛け飛び降り死んだといわれてます。

なく、冬期であっても増水せず、神秘的な池と称されています。 **※姫穴**: 殿池より下ること 300m 谷間の一大絶壁にある高さ 5.5m、間口 1.5m の岩穴があります。ここに、新田義

※殿池:源頼親及び瓜生保の在城のとき、山中唯一の飲料水、した。 四項の 14.0 1/1/2

貞の夫人に匂当内侍が一時身を隠した所と言われてます。

※居館跡と土塁:一の城戸より中を御屋敷と言い、瓜生家一門の居城でした。背に杣山の絶壁を負い、居館跡には 好地です。現在、その居館跡の土塁がそのまま残っています。









不空羂索観音





一面観音 如意輪観音

しょうかんのん せんじゅかんのん ろっぴのばとうかんのん ふくうけんじゃくかんのん

六臂の馬頭観音

◆トレッキングコースの様子











変化の富んだコース 植生も豊富

尾根出会い

堀切

眺望を楽しみながら













変化に富んだコース

大絶壁

犬返·駒絶壁

前方、杣山山頂











杣山山頂 三等三角点

下山コース1

2







ケイ掛岩

大絶壁











西屋敷跡1

2





姫穴







殿池

◆自然観察

